

公安委員会定例会議(第17回)の開催状況

第1 日 時 令和8年7月8日(水)

午後2時10分 ～ 午後4時02分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長、
総務課長

第3 議事の概要

1 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議会議録

総務室から、令和8年第16回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(3) 地域交通安全活動推進委員に対する公安委員会表彰の推薦

交通部から、地域交通安全活動推進委員に対する公安委員会表彰の推薦について伺いがあり了承した。

2 報告事項

(1) 令和8年度愛媛県警察職員採用試験実施状況等

警務部長から、令和8年度愛媛県警察職員採用試験実施状況等について報告があった。

委員から「警察の魅力を効果的に発信するためには、警察職員が自由な発想を出し合うことが肝要である。個々の特技やスキルを生かし、多くの意見を取り入れながら進められたい」との発言があった。

委員から「警察学校の訓練状況の動画を見たが、厳しい中にも明るさや笑顔があり、大変良い出来栄である。今後も警察の魅力発信に努めていただきたい」との発言があった。

委員から「警察が投稿した動画の再生回数が2万回を超えているが、これは県民が興味を持っている証拠である。本日、発足したひめ警未来創造プロジェクト魅力発信チームを中心にSNSを活用するなど、県民に警察の仕事を知ってもらえるよう、効果的に推進して欲しい」との発言があった。

(2) 令和8年度白バイ新隊員訓練の実施

交通部長から、令和8年度白バイ新隊員訓練の実施について報告があった。

委員から「白バイの隊員が、厳しい訓練を行っていることがよく分かった。取締り現場等で実務経験を積みながら、事故や怪我なく活躍されることを祈っている」との発言があった。

委員から「白バイは、県民にとって警察活動の象徴であり、徹底した

訓練により知識と技術を身に付け、県民の安全安心の確保に努めていた
だきたい」との発言があった。

委員から「白バイの厳しい訓練の状況から、相当な体力が必要である
と感じた。隊員の方々が、これら訓練を乗り越え一人前となり、活躍さ
れることを期待する」との発言があった。

(3) 無線LAN対策及び情報技術解析状況

情報通信部から、無線LAN対策及び情報技術解析状況について報告
があった。

委員から「電波など目で確認できない事象への対策は、専門的な知識
と技術が必要である。効果的な教養、訓練により人材育成に努められたい
」との発言があった。

委員から「日々進化するIT技術や、それを悪用した犯罪に対応する
ためには、警察も常にアップデートする必要がある。今後も知識や技術
の高度化に努め、事案発生時の対処に万全を期されたい」との発言があ
った。

委員から「スマートフォンは犯罪の手段として活用されるため、これ
を迅速かつ正確に分析・解析する技術は、極めて重要だと感じる。今後
も適切な対応をお願いする」との発言があった。

(4) 一般廃棄物収集運搬業に関する行政処分等をめぐるあっせん収賄被疑
者の起訴

刑事部から、一般廃棄物収集運搬業に関する行政処分等をめぐるあっ
せん収賄被疑者の起訴について報告があった。

(5) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(6) 訟務案件に関する報告

警務部から、訟務案件に関する報告があった。

(7) 人事案件に関する報告

警務部から、人事案件に関する報告があった。

以 上